

岩上 真也

Iwagami Shinya

大分県赤十字血液センター
献血推進課
2010年 入社



入社のかっけは？

大学時代に所属していた公共経済学のゼミでの経験を活かすため公務員をはじめとした公共性の高い仕事ができる団体への就職を目指していました。様々な団体の入社試験を受ける中で、日本赤十字社大分県支部の採用試験を知り、調べたところ赤十字の全ての事業が人命と尊厳を守るため社会に広く貢献していることに魅力を感じ、赤十字の一員として働きたいと思い入社を希望しました。

現在の仕事内容は？

大分県内の企業や団体での移動採血車（献血バス）による献血実施に向けての調整、事前広報等を行っています。

「献血」というと常設されている献血ルームなどイメージされる方がいらっしゃると思いますが、血液センターでは輸血用血液製剤を医療機関（輸血を必要とされている患者）へ滞ることなくお届けできるよう、献血ルームだけでなく、献血バスにて県内の様々な会場に運行し、多くの方々に協力をいただいております。

仕事のやりがいは？

移動採血車での献血は企業様のご理解は勿論のこと、日程調整、ポスターの作成配布、献血の呼びかけなど、様々な過程を経て実施できています。現在の新型コロナウイルスの影響や様々な状況によっては、中々、計画している人数分の協力を得られないこともあります。地道な努力を重ねた中で結果が出ると達成感とやりがいを感じます。また、会場によっては、会場の担当の方や献血いただいた方が労いの言葉や、「社内では出来そうな人を探してくるわ！」と共に声をかけてくださることもあり大変励みになっています。

就活生へのメッセージ

赤十字の事務職は人事・経理など、一般的な仕事の他、災害救護や献血現場での呼びかけなど赤十字特有の仕事にも携わることがあります。仕事の中には、向き不向きがあるかもしれませんが、他の職種に比べ様々な経験を積むことができ、赤十字全体を知ることが出来るのが事務職の強みと思っています。何事にも前向きに取り組める方やコツコツ努力できる方と一緒に働くことが出来ると嬉しいです。